

【土木委員会事業】

## 現場施工に関する意見交換会（菊池）を実施

本年度より熊本県の各地域振興局・熊本土木事務所と現場レベルにおける諸問題につき、県の現場担当者と協会会員の主任（監理）技術者等による意見交換会を実施することとなった。

5月30日（月）に、菊池支部と菊池地域振興局との意見交換会をモデルケースとして実施。当日は、県側・協会側からそれぞれ10名前後の担当者・技術者が参加し、2班編成のグループ討議を実施。討議したテーマは、1班：品質確保、工事の安全対策、施工管理等について、2班：書類の簡素化・統一化（電子納品、情報交換共有システム、提出書類・指示等）の2つ、それぞれの班で討議後、意見を集約し発表。発表した意見に対し、別の班でさらに意見の追加、解決・改善策等の提案を行い、出た意見を集約し発表した。（次ページ参照）

最後に、班討議参加者・オブザーバー出席者全員で全体討議を行い、意見交換を総括。今回の意見交換会の主な目的は、現場技術者の意見を直接出せる場をもうけること、近年希薄になりつつある現場施工に直接携わる者同士のコミュニケーションを図ることにあり、今後仕事上でも気軽に意見を出し合える関係を構築することにあった。

最初に実施した意見交換会であり、スムーズに行かない部分もあったが、菊池支部でのモデルケースを参考に順次各地区で開催を予定しており、有意義な意見交換会になるよう改善していく。また、この現場施工レベルの意見交換会で出た意見は、各支部で取りまとめ支部で改善・解決できるもの、秋に実施予定の土木委員会と県技術管理課との意見交換会に取り上げるものに分けて、より良い施工現場環境の構築に繋げていく方針である。



## 第1班 テーマ) 品質確保、工事の安全対策、施工管理等

- ① (品質管理) 各種試験に対して1項目1回は立会してほしい
- ② 総合評価方式の実施方法について負担になっている
- ③ コンクリート打設時のテストピースが識別しづらい → 現場と識別できる写真撮影、テストピースの表示方法の統一
- ④ 創意工夫書類の提出の活性化 → 配点を増やす
- ⑤ 交通誘導員の計画人数の適正化 → 施工計画時及び着工前協議による誘導員人数の提出
- ⑥ 安全訓練を活性化してほしい → 発注者の安全訓練への参加
- ⑦ 工程表(週間及び月間)を提出した際、担当者からの意見がほしい
- ⑧ 適正な工期を設定してほしい → 工事の早期発注と適正な工期の設定、適正な時期の発注
- ⑨ 提出書類が多すぎて、データも重くなる
- ⑩ 変更施工計画書を提出してほしい → 追加工種(大きな変更)があるものについて出す
- ⑪ 発注図に不備がある → 発注者で修正する
- ⑫ 発注者がトランシット等の測量機器についてっていない → 技術センター研修を要望する
- ⑬ 発注者・受注者とも現場の把握ができていない
- ⑭ 安全費に含まれている施設の程度がわからない → 具体例を示す
- ⑮ 機械のオペレータが育っていない

## 第2班 テーマ) 書類の簡素化・統一化(電子納品、情報交換共有システム、提出書類・指示等)

- ① 情報交換共有システムについての利便性の認識不足 → 電子メールの利用と操作研修の充実、体験版的に取組めるやり方を検討する
- ② CADは難しい(発注図面にも修正が必要なことがある) → CAD基準の緩和、より使いやすいCADソフトの導入を検討する
- ③ 工事管理の支援ソフトの統一がされていない → 統一ソフトの作成・無料配布
- ④ 電子化の徹底が不統一である → 最低限の電子化で済ませて欲しい
- ⑤ つじつま合わせの書類、不必要な書類作成が多い → 竣工資料に不要な補足資料はつけないように統一する
- ⑥ パソコンのスペック不足(業務に使用するソフトについて行っていない) → パソコンのスペックアップ(メモリー、グラフィック機能を追加する)